

二五七〇番

かくのみし 恋ひば死ぬべみ たらちねの 母に
も告げつ 止まず通はせ

二五七一番

ますらをは 友の騒きに 慰もる 心もあるら
む 我そ苦しき

二五七二番

いつはりも 似付きてそする 何時よりか 見ぬ
人恋ひに 人の死にせし

二五七三番

心さへ 奉れる君に 何をかも 言はずて言ひし
と 我がぬすまはむ